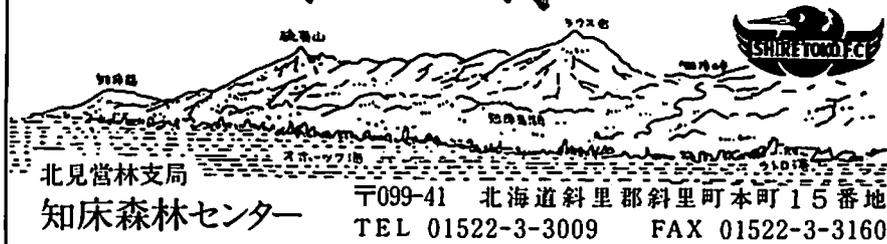


知床の森から



新・旧森林センター所長挨拶



新・馬淵所長

はじめまして。北見営林支局計画課からまいりました。これまで、知床半島といえば標津営林署勤務の頃、羅臼岳、羅臼湖を覗いてまわっただけなので、奥地へも足を踏み入れてみたいという願いをもっていたものでした。今後は、以前に私が抱いていたように、知床の山々を覗きたいという多くの人々を案内することとなりましたが、山と森を利用することの楽しさを知っていただけるような、案内に心がけて参りたいと思っています。



前・小合所長

知床森林センター設立以来、7月末までの間2年5箇月所長を勤めさせていただきました。何分、初めてのことばかりで、立派にやりとげたとは言えませんが、何とか勤めあげられたのも、地域の皆様及び同僚の御支援、御協力の結果と感謝しています。センター設立の環境は、天、地、人とも恵まれた時期だったと思います。新所長の下、益々センターが、地域の方々に愛される存在となるようお祈りします。

知床森林センター夏の夜空にライトアップ!

去る、7月14日行われた斜里町夏まつり「しれとこ斜里ねぶた」に合わせて、知床森林センター庁舎のライトアップを行い、光の祭典に一つの名物を加えました。

これは、地元電力会社の協力によるもので、祭りの期間中午後6時から10時まで6基の照明燈を使い行われ、照らし出された庁舎はまるでメルヘンの世界の城のように美しく夜空に浮かび上がり、幻想的な雰囲気をかもし出し、町民や観光客の目を楽しませてくれました。



夜空に浮かび上がる森林センター

森林レク 夏の知床を満喫!

7月27日、第6回森林レクが知床硫黄山で行われました。「新緑の知床で森林浴を体験してみませんか!」と題したこの森林レクには、地元斜里町をはじめ北見市、網走市から総勢35名が参加し、年齢も6歳の幼稚園児から76歳のお年寄りまで幅広い層の人々が、目的地である硫黄山新噴火口めぐりして汗を流しました。

片道2kmの起伏に富んだコースでは、インストラクターから「噴火による森林破壊跡地に甦る樹々」「岩石の破れ目に力強く生育する高山植物」などの説明を受け、自然の生命力の強さに感動していました。

また休息地の見返り坂から望むオホーツクの海は、マリンブルーに輝き地球の円みをも感じさせ、知床の雄大さと美しさを改めて感じていたようです。

昼食後、参加者たちは森林センター製作「知床連山の誕生」を紙芝居で学び、噴気口の熱水を利用した「ゆで卵」つくり挑戦する人、大自然をバックに記念写真を撮る家族など、それぞれに知床の自然と緑の中で森林浴を満喫し全員無事帰路に着きました。



森林レクを楽しむ参加者たち



▶シレットコスミレ



▶コマクサ

知床は「今」

北海道 知床の夏、最も知床半島で活気のある季節に移り、人も動物も植物も短い夏を堪能しています。

標高1,000m以上の稜線や雪田を尋ねてみますと、数十種類にもおよぶ高山植物が、色鮮やかに可憐な花を咲かせています。

登山者の姿も疎らな硫黄山以東の名もないピークには知床個有種の植物であるシレットコスミレや、高山植物の女王コマクサが今を盛りに咲き競いあっています。

知床野営場 今年も大賑わい!

6月下旬にオープンした国設知床野営場は、気軽に大自然の野趣を味わえるキャンプ地として、ミツバチ族やアウトドア・ライフを楽しむ家族づれに人気をよんでいます。今シーズンは既に9千人が利用し、国内では遠く九州・沖縄から、外国ではスイス・南米など日本の裏側からの利用者もあり、国際色豊かなキャンプ場として賑わっています。



知床探索のベース基地、知床野営場